

「ふくしの森ステーションあがの」の役割をご存知ですか？



○茶の間、サロンの推進・支援



○総会や会議の打合せ等を含めた運営協力
○情報共有、情報提供等



○小中学校の福祉教育支援



○らくだ号運営の推進・支援

①地域づくりのお手伝い

地域福祉推進組織「たすけあいあがの」の円滑な運営のために、組織への「**技術的な支援**」、「**財政支援**」及び「**情報提供**」等を行っています。その他、地域の小中学校と連携する等して「福祉教育」の推進に努めています。



○お食事会の推進・支援

②コミュニティソーシャルワーカー（CSW）としての役割

地域において生活上の課題を抱える個人や家族に対する「**個別支援**」と、それらの人々が暮らす生活環境の整備や住民の組織化等の「**地域支援**」を行っています。実例として、「**貧困、引きこもり、外出困難、高齢化、つながりの希薄化、ゴミ屋敷、認知症、障害**」等の相談があり、各専門機関や行政等と連携し問題解決に努めています。

③生活支援コーディネーターとしての役割

「誰でも安心して暮らせる地域」を作るために、様々な話し合いの場で吾野地区の皆さんと地域に見合った活動を検討します。地域における課題、ニーズ、資源の把握、意見・要望から、自分たちのまちをより良くしていくために、地域の様々な支え合い活動をつなげ、組み合わせる調整役です。

CSW日記：編集後記 ★皆さん・・・お元気でいらっしゃいますか？★

いつも、茶の間やらくだ号等で笑顔でお会いできるのが、楽しみです。

私たちは、「運営委員会・移動交通部会・サロン・茶の間・食事会・らくだ号」等で、皆さんとサポーターさんから、「地域の現状・課題」等について率直な意見・感想をお聞きしたいと思います。いただいた意見をもとに、「**ふだんのくらしのしあわせ**」（福祉）について、一緒に考えて行きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお祈りします♪♪♪榊原



災害に関する飯能市社会福祉協議会(社協)の 主な取り組み

過去に例を見ないような大地震や集中豪雨等、大規模災害がここ数年増加していることは周知の事実です。

それに伴い、全国的に「災害ボランティア」への関心や、参加意欲が高まりを見せています。今年6、7月にかけて発生した西日本豪雨災害でも、全国各地から多くの「災害ボランティア」が被災地に駆けつけ、活躍されています。

下記のとおり、社協の主な取り組みを紹介します。

①災害ボランティアセンターの設置・運営

飯能市防災計画においては、災害の発生時に、応急対策実施のためのボランティアの受入れが必要であると市が判断した場合に、社協がボランティアセンターの設置・運営を行うこととされています。ボランティアセンターの主な業務は、ボランティアの受付・募集、被災者ニーズの把握、ボランティアの派遣・調整、ボランティア活動に必要な資機材の確保、提供等となっています。

そのため、社協では、平時より災害に関する情報の収集や、年1回「災害ボランティアセンター運営訓練」を実施する等、災害ボランティアの養成等に努めています。

②災害及び防災に関する情報の収集と提供

ボランティアの協力により、国内や市内で過去に発生した災害についてまとめたパネルを作成、各種イベント・団体に向け、パネルの貸し出しを実施し、防災意識の向上を図っています。

最新情報

この度、8月12日(日)から19日(日)まで社協から職員(1名)が、広島県坂町に設置されている災害ボランティアセンターの運営サポートのため、派遣されました。

※活動の様子は、ボランティア情報紙JOY JOY10月号にて報告を予定しています。

ボランティア
募集中

③大規模災害発生時の義援金募集

埼玉県共同募金会が呼びかける義援金募集について、窓口での受付や、街頭募金等を実施します。

※このような取り組みに参加したい方は、まず飯能市ボランティアセンターにご相談ください。

問合せ：飯能市ボランティアセンター

電話：973-0022

E-mail：seikatsu@hannosyakyo.or.jp